

誰でも安心して利用できる 医療・介護の実現を



政府は、「消費税は社会保障充実のため」と8%に引き上げましたが、実際には社会保障の大改悪をすすめるようとしています。社会保障の国の責任をまったく投げ捨て「自助」「共助」にすりかえるこんな改悪を許すわけにはいきません。

医療も **バッサリ切り捨て** 介護も

ベッド削減43万床も

「医療費が増えるのは入院できるベッドがあるから」と言わんばかりに、政府みずから 2025 年までに必要とするベッドの数を 43 万床も削ろうとしています。

自己負担も大幅引き上げ

自己負担が大幅に引き上げられたり、あらたに負担を求められる改悪がソロソロ。たとえば入院した時の病院給食費。1食当たり260円が460円に跳ね上がります。1か月入院したとしたら1万8千円もの負担増です。

介護報酬引下げは中止を

介護報酬の 2.27%もの引き下げが狙われています。介護からの人材離れがすすむばかりか、事業所の存続にも影響が。介護の崩壊にもつながりかねません。

<引き上げられる自己負担>

- 70～74歳の自己負担 1割→2割
- 入院時の病院給食費
1食260円→460円
- 紹介状なしで大きな病院にかかる…
定額の負担が（例えば1万円）

介護制度から追い出される

訪問介護、通所介護を介護保険からはずし、市町村が行う事業に移行させるとしています。財政困難な市町村では介護が受けられない人が出る懸念があります。

特別養護老人ホームの入所を「要介護3」以上に限定したり、所得が一定以上の人の利用料をさらに増やすなど、利用者からは「介護が受けられない」と悲痛な声が上がっています。

日本医療労働組合連合会 (日本医労連)

TEL03-3875-5871 FAX03-3875-6270